

「JENESYS2.0」

中国高校生訪日団（科学技術交流）

訪問日程 平成 25 年 7 月 30 日（火）～8 月 6 日（火）

1 プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、中国科学技術協会が選出した中国高校生訪日団（科学技術交流）計 5 名が、7 月 30 日から 8 月 6 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（引率：李冬暉（リ・トウキ）中国科学技術協会 青少年科学技術センター・副研究員）

また、一行は「創造性の育成塾（7 月 31 日～8 月 2 日）」へ参加し、科学をテーマに活発に日本の学生との交流を行いました。また、科学技術に関する視察、伝統文化体験、歴史文化施設の見学を通じ、クールジャパンに直接触れるなど、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

7 月 30 日（火）

成田空港着、山梨県富士吉田市へ移動、「創造性の育成塾」に参加

7 月 31 日（水）～8 月 2 日（金）

「創造性の育成塾」に参加

8 月 3 日（土）

富士山五合目散策、富岳風穴・樹海参観、富士山レーダードーム館視察、山梨県立リニア見学センター視察、和風温泉旅館で日本文化体験

8 月 4 日（日）

東京都へ移動、杉並アニメーションミュージアム参観、江戸東京博物館参観、商業施設視察

8 月 5 日（月）

国会議事堂視察、皇居・二重橋見学、日本文化体験（藍染）、浅草見学、日中友好会館 後楽寮視察、報告会、歓送会

8 月 6 日（火）

成田空港より帰国

3 写真

	
<p>7月31日 「創造性の育成塾」開塾式 有馬朗人塾長(左)からのメッセージ (山梨県)</p>	<p>7月31日 ノーベル化学賞受賞の鈴木章北海道大学名誉教授(右)に質問する団員 (山梨県)</p>
<p>7月31日 創造性夏令营活動開营典礼 有馬朗人老师致辞 (山梨県)</p>	<p>7月31日 ノベル化学奖得主北海道大学铃木章名誉教授接受团员的提问 (山梨県)</p>
	
<p>7月31日 講師を囲んで集合写真(山梨県)</p>	<p>7月31日 水の電気分解実験 (山梨県)</p>
<p>7月31日 与各位讲师一起合影留念(山梨県)</p>	<p>7月31日 水的电解实验(山梨県)</p>
	
<p>8月1日 朝のラジオ体操 (山梨県)</p>	<p>8月1日 秋山仁東京理科大学教授による講義 (山梨県)</p>
<p>8月1日 早晨做广播体操(山梨県)</p>	<p>8月1日 东京理科大学秋山仁教授上课(山梨県)</p>

	
<p>8月2日 前半のまとめ発表（山梨県）</p>	<p>8月2日 天体観測（山梨県）</p>
<p>8月2日 発表上半期活動的总结(山梨县)</p>	<p>8月2日 天体观测(山梨县)</p>
	
<p>8月2日 修了証書授与（山梨県）</p>	<p>8月2日 育成塾の塾生と交流（山梨県）</p>
<p>8月2日 颁发结业证书(山梨县)</p>	<p>8月2日 与参加创造性夏令营活动的日本学生交流(山梨县)</p>
	
<p>8月3日 富士山五合目散策（山梨県）</p>	<p>8月3日 富岳風穴・樹海で昼食（山梨県）</p>
<p>8月3日 到富士山半山腰游览(山梨县)</p>	<p>8月3日 在富岳风穴树海用午餐(山梨县)</p>

	
<p>8月3日 富士山レーダードーム館視察（山梨県）</p>	<p>8月3日 山梨県立リニア見学センター視察（山梨県）</p>
<p>8月3日 考察富士山雷达圆顶馆(山梨县)</p>	<p>8月3日 考察山梨县立磁悬浮列车展示中心（山梨县）</p>
	
<p>8月3日 和風温泉旅館体験（山梨県）</p>	<p>8月4日 杉並アニメーションミュージアム見学（東京都）</p>
<p>8月3日 体験日式温泉旅馆(山梨县)</p>	<p>8月4日 参观杉并动漫博物馆（东京都）</p>
	
<p>8月5日 皇居・二重橋見学（東京都）</p>	<p>8月5日 日本伝統文化体験（東京都）</p>
<p>8月5日 参观皇居二重桥（东京都）</p>	<p>8月5日 体验日本传统文化（东京都）</p>

	
8月5日 日中友好会館 後楽寮視察（東京都）	8月5日 報告会 訪日成果報告（東京都）
8月5日 考察日中友好会館 后楽寮（東京都）	8月5日 在報告会上汇报访日成果（東京都）

4 参加者の感想（抜粋）

○ 今回が初めての日本訪問だった。恥をかいたりしないか、生活に慣れないのではないかなど、最初はとても緊張していた。しかし日本に来たら、とても温かいおもてなしを受けた。それに日本の食事も私が想像していたような、生ものばかりではなかった。これで慣れないのではという心配は一気にふっとんだ。

今回参加したサマーキャンプでは、秋山仁先生の「あなたも今日から数学者」というタイトルの授業が一番印象深かった。これは立体幾何学の授業で、先生がいくつかの定理を紹介してくれた。一つ例を挙げると、正四面体をはさみでどう切っても、その紙を展開した後は繋ぎ合わせられるようになるというものだった。

日本は、多くの中国人が想像するものとは違っていった。それらの想像は政治的なものであって、民間ではまったく違っている。民間交流はこれからも必要だし、続けていけるだろう。また、数学の授業は毎日例題を解くばかりではなく、楽しみながらも重要な知識を覚えることができると思った。

○ 今回の科学技術交流活動はとても印象深かった。8日間の滞在中、私たちは日本人の生徒達とともに授業を受け、生活し、交流することで、日本について新たな理解ができた。最初の3日間の勉強では、光栄にもノーベル賞受賞者の鈴木章先生をはじめ、日本の科学研究のトップの先生方にお目にかかることができた。この貴重な機会を通じて、中日間の文化交流ができたことがいちばんの収穫だった。さらに、授業を通じて、日本の生徒達と積極的に交流を行うことができ、互いの国に対する理解が深まったことも非常に貴重な収穫だった。

それからの数日は、富士山や江戸東京博物館、杉並アニメーションミュージアム、国会議事堂、浅草寺など日本の有名な観光地を見学し、日本に対する理解が更に深まった。日本には私たちにとって学ぶべきものがたくさんある。

今回の訪日を通じて、もっと多くの人たちに日本を知ってほしいと思った。そして他人からの話を通して知るのではなく、自ら体験することがとても大事だと伝えたい。これからも、今回のような活動をぜひ続けてほしい！